



NPO Honokuni

Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 104 穂の国森づくりの会

〒440-0888
 愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
 太陽生命豊橋ビル2F
 Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
 E-mail / honokuni@honokuni.org
 http://www.honokuni.org/

元号が変わって最初の「全国植樹祭」(第70回)が、2019年6月2日に愛知県森林公園(尾張旭市、名古屋市守山区)で開催されます。愛知県での開催は、1979年5月に第30回全国植樹祭を開催して以来、40年ぶりで2回目の開催となります。

当会でも、2014年1月に活動をスタートした「ウッドパーク平尾」活動が、今年1月にようやく「植樹祭」にたどり着きました。

しかし、「全国育樹祭」もあるように、これから植樹した樹木を大切に育て上げることが大切です。皆さんと森を楽しみながら育てて行きましょう。ご参加をお待ちしています!
 (たつや)

ウッドパーク平尾

里山づくり植樹祭を開催しました!!

「ウッドパーク平尾」は、子どもから大人まで街の近くで気軽に森を楽しめることができる森づくりを目指して整備を進めています。

今回、(公財)日本フィランソロピー協会様を通じて、(株)かんぼ生命様から活動のための寄付金をいただき、作業道具を整えて、9月から本格的な整備を開始することができました。

まず、ウッドパーク平尾の入口までの林道と入口から15m程入った区域の雑草や笹を刈り整地をして、車の出入りと駐車場、休憩スペースを確保しました。しかし、雨が降ると地面がぬかるむところがあるため、ウッドパーク平尾の近くの音羽開発(株)様から砕石をご提供いただき、ぬかるんだ部分に砕石を敷き詰めて問題を解消しました。

今回、植樹を行う区域は駐車場と休憩スペース奥側の約0.3haです。シャシヤンボやクチナシ、モチツツジ、マンリョウなどの残したい樹木があるために、手作業で雑草や笹、雑木を刈りました。

そして、1月27日(日)に植樹祭の本番を迎えました。(株)かんぼ生命保険岡崎支店の樋口支店長様をはじめ、小学生や私立桜丘高等学校(豊橋市)の生物部の皆さんなど20名の定員を上回る方々にご参加いただき、植樹祭を開催することができました。

今回は、木の実や花見を楽しめるようにコナラ、ヤマグリ、ヤマザクラなどの落葉広葉樹9種類、約150本を植樹しました。なお、苗木の一部は、横浜ゴム(株)新城工場様よりご提供いただきました。

また、ウッドパーク平尾は、イノシシやニホンジカ、ニホ



▲植樹の様子



▲植樹祭参加の皆さん

ンノウサギが頻繁に出没することから、獣害防止ネットを設置し備えました。その結果、植樹から1ヶ月を過ぎても被害は全くなく、植樹した苗木も春の芽吹きに向けて準備をしている様子です。

今後は、鎌や刈込挟による手作業の下刈りが数年続く予定です。ウッドパーク平尾で自然を楽しみながら、少しでも、作業のお手伝いをいただければ幸いです。

(もりみの)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その13
「茶臼山高原、アテビ平」

中西 正

「茶臼山高原、アテビ平」自然観察会 2007.10.14

茶臼山は愛知県と長野県の県境にある 1,415mの山で、愛知県では最も高い。山の周辺は高原状に広がり、広くリゾート地になっている。今回の目的地はこの北側に位置する長野県側（売木村）で、アテビ平の小鳥の森として自然散策ができるようになっている。小鳥の森というように野鳥を中心にしたパンフレットも作られている。講師は高柳先生だった。

アテビ平のアテビとはヒノキに似た針葉樹であるクロベの別名である。この地にクロベが多いことからと名づけられている。クロベは多湿地を好み、根が浅い性質を持つ。この一帯は水はけの悪い多湿地であり、林内には湿地が散在している。ミスゴケが一面に生えていたり、ザゼンソウやミスバ

ショウが植えられていたりする。春先にこれらの植物を観察することは楽しいが、自生でないことを忘れてはならない。群落中にはズミやサワラ、ツガが混じっている。



▲ズミの果実

標高は 1,200mで、植生の垂直分布では山地帯に属する。このため一般的にブナ林も見られる。そこにはミズナラ、イヌブナ、ナツツバキ、ハウチワカエデも生えている。ミズナラはブナ林が壊されたときにできる二次林を形成する種類で、この林ができる前にはシラカバが生えることもある。ブナ林の分布の中心が日本海側なのに対してイヌブナは太平洋側である。ナツツバキはその赤みを帯びた樹皮に特徴があり、白く大きな花をつける。カエデの仲間も多く、ハウチワカエデ以外にもミネカエデ、オオイタヤメイゲツ、ウリハダカエデなどがあるという。この林の低木にはシロモジ、コシアブラ、オオバクロモジ、タンナサワフタギなどが生えている。シロモジ、クロモジはクスノキ科の植物で香りがよい。特にクロモジはその材を「くろもじ」や「爪楊枝」に用いる。コシアブラの若葉は山菜として重宝される。

コースは平坦で歩きやすかった。途中で見た植物にはツチアケビがあった。これはラン科の腐生植物で、体に緑の色がなく、実がアケビのような形をしていた。



▲ツチアケビ



▲アテビ(クロベ)の林相

セリバシオガマは暗い林の下に生えるシオガマギクの仲間で、葉は細かく切れ込み、花は白く咲いていた。草原的な明るい場所には常緑のシダ植物であるフユノハナワラビがあった。地面から茎が立ち、10～20cmの高さで地面に水平に一枚の葉を広げる。中央からは更に胞子をつける茎を穂状に伸ばしている。森を外から見たとき、木に絡むヤマブドウがあった。大きな葉が立派で、1枚の葉が新聞紙大になることもある。時期がもう少し後なら紅葉しているのが見えるはずだ。そして、よく探せばブドウの実がなっていることだろう。



▲木に絡むヤマブドウ

帰りには愛知県側にある矢筈池を一周して観察した。そこに植わっているハナミズキはすでに紅葉し、果実が赤く熟していた。



視察に行ってきました! ~伊勢神宮の森編~

創立20周年記念事業で長編ドキュメンタリー映画「うみやまあひだ〜伊勢神宮の森からのメッセージ〜」を上映しました。その後のフォレスト編集会議で、伊勢神宮の森をぜひ見に行きたいという話になり、平成30年10月18日に三河國國府鎮守「大社神社」(豊川市)の鈴木忍宮司さんにご案内いただきながら、伊勢神宮の参拝と神宮の森を見学してきました。

当日は、早朝に伊良湖港をフェリーで出発し鳥羽港に到着。夫婦岩で有名な二見興玉神社に向かいました。車窓から見える森林の林相は、若い二次林やヒノキ林、竹林ばかりで、映画に出てきたような森林はまったく見られませんでした。

二見興玉神社を参拝後、伊勢神宮の外宮を訪ねました。外宮内の森林は、これまで見た森林と一転して常緑の広葉樹が成熟し、その中に樹齢数百年と思われるヒノキの巨木が点在する神々しい林相でした。

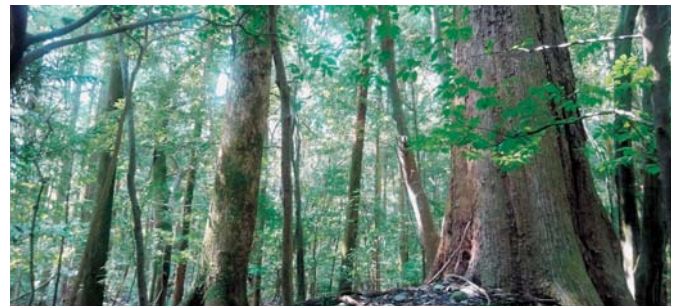
伊勢神宮の外宮を参拝後、伊勢神宮の内宮に向かいました。伊勢神宮の内宮の森林も常緑の広葉樹が成熟し、その中に樹齢数百年と思われるヒノキの巨木が点在

していました。さらにクスノキやカシの巨木も多くみられ、外宮よりもさらに奥深さを感じさせる林相でした。林縁を流れる五十鈴川も透明度が高くまさに清流でした。

鈴木宮司さんによると、伊勢神宮周辺の森林の多くは、かつてハゲ山だったとのことでした。どうりで車窓から見える森林の林相が、若い二次林やヒノキ林、竹林だった訳です。

また、鈴木宮司さんには、正しい参拝の基本から、神事にまつわる様々な知識を教えていただき、大変充実した視察となりました。

(もりみの)



▲伊勢神宮(内宮)の森の林相

会員さんの森づくり探訪

シリーズ Part17

コニカミノルタ労働組合
愛知支部さん

今回は、コニカミノルタ労働組合愛知支部さん(豊川市穂ノ原3丁目)の森づくりを紹介します。

コニカミノルタ労働組合さんの森づくり活動は、旧ミノルタ労働組合の時代の1996年からで、地域環境保全活動の一環として、奈良県の「高取山国有林」での取り組みが始まりました。

また、富士山ナショナルトラスト運動に参加されるなど、全国各地で森づくりに取り組まれています。

東海地域では、愛知支部さんが「とよたオイスカ山守の会」さんの活動に参加されていましたが、愛知県労働者福祉協議会東三河支部さんの森づくり(Vol.82参照)を通じて当会と交流が生まれ、平成30年度から当会の森づくり活動に参加いただくことになりました。

活動場所は、愛知県民の森(新城市)にあるピクニックサークル広場で、愛知県と当会が利活用協定を結んでいる県有林です。平成30年4月28日に第1回目の森づくりが始まり、大人から子どもまで約20名の方々に参加いただきました。作業内容は、高さ1~2mで幹の直径2cm程度の樹木が密集する雑木林の除伐作業。ノコギリや刈込バサミを使って、スッキリと見通しの良い雑木林にな



▲平成30年4月28日の作業の様子

るよう取り組んでいただきました。

また、昼食後は丸太切り競争を開催し、楽しみながら森林整備の大変さを実感していただきました。

今年(平成31年度)も4月に活動を予定しています。モミの木の間に、ミツバツツジやホソバシヤクナゲなど花や紅葉が楽しめる明るい森に生まれ変わりつつあります。

読者の皆様も愛知県民の森にお越しの際は、ぜひ、ピクニックサークル広場まで足を運んでいただければ幸いです。

(もりみの)

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

6月16日(日)

定例交流会

会 場：愛知県民の森「Aキャンプ場」(新城市)
時 間：午後12時40分～午後2時
対 象：どなたでも
参加費：3,000円(会員、関係者以外は3,500円)
内 容：の～まんばざ～る荷互奈さんによる揚げたての山菜の天ぷらや五平餅など、奥三河の幸満載の料理を堪能しながらの交流会です。
申込み：参加希望者の住所、氏名、電話番号を事務局へご連絡下さい。



▲ヨモギ、コシアブラ、タラの芽などの山菜の天ぷら



▲の～まんばざ～る荷互奈さん特製の五平餅

7月27日(土)

ウッドパーク平尾 夏の育樹祭

場 所：ウッドパーク平尾(豊川市平尾町)
集 合：午前10時にウッドパーク平尾
(詳しい場所は、お申込み後にご案内致します)
解 散：午後12時
対 象：どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
定 員：20名(申込み順、会員優先)
参加費：無料
内 容：今年1月に植樹した区域の草刈り作業
持ち物：軍手、飲料、雨具など
その他：小雨決行です。
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を事務局へご連絡下さい。

企業の森づくり応援します!!

穂の国森づくりの会では、森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくり
- 森林整備の作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した環境教室の企画
- 三河材を活用したイベントの企画
- 森林を活用した社員研修の企画
- 森林の素材を活用した販促グッズの企画 など

様々なご要望に応じて応援させていただきます。
簡単なお問い合わせでも結構です。
事務局までお気軽にお問い合わせください。



スパゲッティ亭チャオ

【直営店】
本 店 豊橋市広小路1-45 2F
アビタ向山店 豊橋市向山町中畑1
赤 岩 店 豊橋市東田町井原16-1

【F C 店】
みゆき店 豊橋市西幸町浜池5-2 2F
豊川開運通店 豊川市開運通2丁目27-4

<http://www.ogi-ya.co.jp/restaurant/>



『人を、命を、社会を潤す』

各種自動販売機・食品機器・食品卸・直営販売
株式会社 サン・カンパニー

おかげさまで
40th
Anniversary

〒441-8157 豊橋市上野町新上野79-1
TEL.0532-45-9105 FAX.0532-45-3725
<http://www.suncompany.co.jp>



私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。
会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org